



「安全週間特集」
過去の労働災害事例に学ぶ

バンドー化学株

～労働災害体験ツアーで災害の怖さを知ろう～

バンドー化学では安全対策として、リスクアセスメントを推進することにより設備の安全化を行うと共に、安全教育による人の安全力アップにも力を入れています。安全教育では、座学による一般的な教育のほか、危険体感機を使用した安全感受性向上教育や今回紹介します労働災害体験ツアーなどを行っています。

労働災害体験ツアーとは「過去の災害事例から災害の怖さを感じ、危険な動作をしない、させない事を全従業員に徹底させ災害の撲滅を図る」ことを目的に労働災害発生現場にて実際の機械を前に労働災害の発生状況、怪我の大きさ、発生原因、対策内容を説明するものです。

リスクアセスメントにより設備の安全化が図られ、大きな労働災害に直面することが少なくなり、労働災害の怖さを知らないために容易に設備等に手を出すことから、2010年度より実施しています。受講者からは「安全に対する意識が変わった」「今やっている作業手順の意味がわかった」「他の職場を見られて良かった」などの感想が寄せられています。

今後もリスクアセスメントと安全教育を2本柱として労働災害ゼロを目指して安全活動を推進していきます。

